

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年3月1日

事業所名 スタジオそら幡ヶ谷

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	1	運動と机上の課題で部屋を分け工夫している	今後も継続して支援を行っていく
	② 職員の配置数は適切であるか	6	2	スタッフ間で公休の調整をしている	土日祝日の職員配置が困難な時がある
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	個別のニーズに応じて対応している	集中しやすい環境を整えるよう努力する
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	8	0	毎日掃除を行っている	安全面に配慮した空間作りを継続して行っていく
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	8	0	毎月の目標シート共有で職員のすべき業務が見える	今後も継続して実施していく
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	1	必要に合わせて改善している	今後も意見がある場合は迅速に周知し改善を図る
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	公開している	今後も継続して実施していく
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	第三者評価は実施していない	実施するよう検討する
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	本社にて研修を実施している	今後も様々なテーマで実施するよう努力する
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	アセスメントから分析し支援計画を作成している	保護者からの要望や作成前の聞き取りを充実させる
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	アセスメントを実施している	全スタジオ共通の新しいアセスメントツールの導入を進めている
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	発達支援については具体的に設定されている	発達支援に関しての支援内容を今後も設定していく
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	支援計画を元にプログラムの内容を打ち合わせしている	今後も継続して支援を行っていく
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	プログラム作成時にミーティングを行い、内容が向上するように工夫している	今後も継続して支援を行っていく
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	特定の療育士でなくチームで療育している	今後も継続して支援を行っていく
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	意見交換しながら決定している	本人に必要なプログラムと通所可能なプログラムとのすり合わせが課題
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	前回の支援計画内容を踏まえ、その日に実施する内容を決定している	今後も継続して支援を行っていく
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	毎日の終礼で実施している	今後も継続して支援を行っていく
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	毎回療育後に記録を記入している	スタッフ間で話し合いをしながら、今後も改善につなげていく

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	定期的に実施している	今後も継続して支援を行っていく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児童発達管理責任者が参画している	今後も継続して支援を行っていく
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	一部の地域に限定されているが連携はとれている	今後も継続して支援を行っていく
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	0	必要に合わせて行っている	職員への周知を行っていく
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	2	必要に合わせて行っている	職員への周知を行っていく
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	必要に応じて見学・意見交換を行っている	こちらからの依頼は少ないが園での生活について相談があり、情報共有する事が多い
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	必要に応じて就学支援シートの記入や・情報共有を行っている	今後も継続して支援を行っていく
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	区内事業所の連絡会に参加し意見交換を行っている	今後も継続して支援を行っていく
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6	スタジオ内では未実施だがそらコンサートの案内をしている	会員様のご意見も踏まえながら、必要に応じて検討していく
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	1	機会があれば子ども部会への参加をしている	事業所連絡会にて自立支援協議会の内容を共有されている
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	毎回療育後にフィードバックを行っている	今後も継続して支援を行っていく
		㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	8	ペアレント・トレーニングは未実施
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に説明している	今後も継続して支援を行っていく
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	半年に一度以上は説明の機会を設けている	状況や要望に応じて説明を引き続き行う
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	フィードバック時、又は必要に応じて機会を設けている	今後も継続して支援を行っていく
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	実施していない	保護者のニーズが少ない
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	迅速に周知し、対応している	共有し話し合いを行い今後も継続して取り組む
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	そら通信や毎月の予定を発信している	今後も継続して支援を行っていく
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	個人情報にあたるものについては鍵付きの書庫に入れ、職員間で周知している	今後も継続して支援を行っていく
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	伝わりやすい手段を日々検討している	今後も継続して支援を行っていく
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8	実施していない	どのように機会を設けるか検討していく

非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	契約時に説明をしている。保護者用の閲覧マニュアルを置いてある。	引き続き定期的の実施し意識を高めていく
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	年に2回訓練実施している	引き続き定期的の実施し意識を高めていく
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	共有している	今後も継続して支援を行っていく
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	6	2	保護者への確認、職員間での共有を実施している	指示書の指示を求める
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	1か月ごとにまとめて共有している	今後も継続して支援を行っていく
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	研修を実施している	今後も継続して支援を行っていく
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	保護者には身体拘束に関して契約時に説明している。必要に応じて対応している。	今後も継続して支援を行っていく

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。